

# いもう 葦毛通信



平成 30 年 1 月 5 日  
豊橋市文化財センター  
豊橋市松葉町 3 丁目 1  
TEL : 0532-56-6060

No. 59

スイラン

## 1、バックホーによる作業－3(一の沢作業報告－2)

一の沢湿地での手作業による細かい根の除去作業が終了しました。これで春の植物の発芽を迎える準備ができました。前号では良好な湿地としてかろうじて残っていた一の沢湿地中心部（下流部）での作業を説明しましたが、ここでは完全に森林化していた上流部で行った作業を説明します。

### 1) コシダの根の層の除去

一の沢湿地の上流部は地表面の多くが厚くコシダの根で覆われていました。右上の写真は作業前の状況で、木を伐って1年目の状態です。切り株からはヒコバエが伸びて球状になっているのが数多く見られます。

写真手前は水に洗われた礫が目立ちますが、この部分が一の沢の水道になります。奥にはコシダの根の層が厚く堆積しており、コシダの茎が地表面に多く残っています。このコシダの根の層と水道との間からは葦毛通信 No. 56 で報告したようにトウカイコモウセンゴケ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ等の食虫植物が発芽し開花しました。今回の作業ではコシダの根の層を丁寧に除去しました。厚さは5～10センチ程度でした。

右下の写真は除去後の状況です。写真右上から左下に向かって黒色土が見えています。この部分にコシダの根が厚く堆積してしま

### 一の沢湿地上流部（西から東へ）



作業前（2017年8月5日）



作業後（2017年12月24日）

た。コシダの根の層を剥ぎ取ると、ところどころに 50 cm 程度の大きな礫が隠れていたのが分かりました。根の層の下の黒色土（土壌シードバンク）は湿っており、水分量が多く、ここから多くの湿生植物が発芽すると予想しています。

左上の部分は灰色で乾燥しており、コシダの根は多くありませんでした。この部分はやや乾燥した草地になり、この環境に適した植物が発芽してくると予想しています。

## 2) 一の沢湿地上流部全体

一の沢湿地上流部は完全に森林化していたところです。右上写真の奥は国有林で暗い森に覆われ、その中では部分的にコシダやネザサが大きな群落を形成しています。一の沢湿地も木の伐採前は同様に暗い森に覆われていました。

右上写真の右上から下の中央に向かって水が流れており、礫が目立つ水道になっています。これが一の沢で、この水道の左側（東側）にはコシダの根が厚く広く堆積していました。右側にもコシダの根の層は広がっていましたが、左側よりは狭い範囲です。今回のバックホーの作業では、この右側の部分の抜根ができませんでした。しかし、抜根を行った部分と行わなかった部分との比較ができるので、その変化の違いについては結果が分かり次第、順次報告していくつもりです。

コシダの根があったところでは、葦毛湿原内の他の地点と同様に木を伐っただけでは湿生植物はほとんど発芽しませんでした。また、コシダの根の層があるところは湿っており、一定の水量が確保でき、湿地に戻る部分だと予想できました。今回の作業はコシダの根の層だけを除去するようにして、その下にある黒色土をできる限り残すようにしました。この黒色土が地表面に最も近いところにある土壌シードバンクになります。ネザサの根に付いていた黒色土もネザサの根を潰して振り撒いて、その場に残すようにしました。つまり、土壌シードバンクの撒き出しを行ったことになります。水道の上にも黒色土を撒き出し水道が埋まっている部分もあります。

### 一の沢湿地（下流から上流へ）



作業前（2017年10月20日）



作業後（2017年12月10日）

## 一の沢湿地（上流から下流へ）



**作業前（2017年9月7日）**



**作業後（2017年12月10日）**

上の写真は一の沢の上流部から下流部（湿地中心部）を見たところです。手前の部分はコシダやネザサの根を剥ぎ取って潰して黒色土（土壌シードバンク）を水道の上に撒き出したところです。奥の下流部がかろうじて残っていた湿地中心部ですが、周辺部のネザサの根を除去し、同様に黒色土を広く撒き出した状態になっています。

今後、一の沢の水の流れで洗われて撒いた黒色土が落ち着いていけば、多くの湿生植物が埋土種子から発芽し、これまでの他地点の結果からは少なくとも3年後には良好な湿地として復活してくると予想しています。

### 3) 手作業での仕上げ

右写真は一の沢湿地上流部で手作業による根の除去作業を行っているところです。ほとんどは手で拾い集める作業ですが、一部の太い根は唐鍬で掘り起こしています。50 cmほどの立法形の自立袋に入っていきますが、相当な量があります。これらの根を十分に除去しないと植物の発芽を阻



**一の沢湿地上流部での根の除去作業（2017年12月5日）**

害してしまうようです。

右写真は一の沢湿地下流部での作業です。根を集めるのに発掘作業で使っているネジリ鎌（草掻き）を使用しています。写真手前には多くの木の根が残っています。これらの根やネザサの根を丁寧に除去します。作業により踏み荒らしたようになりますが、整地は行わず、そのままにしています。それは、小さな水溜り等ができ、水分量の違いに見られるような多様な環境にするためです。



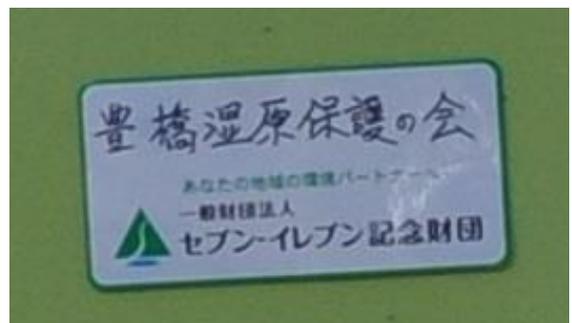
一の沢湿地下流部での根の除去作業（2017年12月5日）

#### 4) 助成金

葦毛湿原では、これまで平成26年度に3日間、平成28年度に4日間バックホーによる抜根作業を行いました。2年に1回行ったのは財政的に毎年行うことができなかつたからです。そこで、今年度は**豊橋湿原保護の会**が**一般財団法人セブン・イレブン記念財団**から助成金をいただき、通算7日間のバックホーによる抜根作業を行うことができるようになりました。つまり、過去4年間で行った作業を今年1年で行うことができるようになったということです。これにより、葦毛湿原の大規模植生回復作業を大きく進めることができるようになりました。

具体的な作業は豊橋市教育委員会の指導のもと、豊橋湿原保護の会、豊橋自然歩道推進協議会等のボランティアが行っていますが、今年度はセブン・イレブン記念財団からの財政的な資金助成を受けることができました。

つまり、行政、ボランティア、民間財団法人が役割分担して協力して最小限の費用で行う自然環境保全の新たな試みということになり、全国どこでもできる方法です。



### 一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成金

セブン・イレブン記念財団では、環境市民活動の助成を行っています。助成の種類別内容は、活動助成、緑化植花助成、NPO自立強化助成、清掃助成です。

豊橋湿原保護の会は、支援の対象となる活動にある、活動分野：A) 自然環境の保護・保全、活動内容：3、その他の自然環境の保護・保全にある河川・湖沼・湿原などの自然環境の保護・保全活動に応募しました。